

事業名 平成20年度 子ども読書ボランティアリーダー育成講座（佐渡地区）

目的 子どもの読書活動を推進するため、読み聞かせ等のボランティアの更なる質の向上を目指して講座を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

実施主体 新潟県教育庁生涯学習推進課・佐渡市立中央図書館
参加対象 読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動に参加した経験のある人（子ども読書ボランティア活動に参加予定の人を含む）

参加者数 1回 37人、2回 29人、3回 29人、4回 34人（講師2人）
回数 4回 **日数** 4日 **時間** 各回2時間
場所 佐渡市立中央図書館 講座室

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月17日（金） 13：30～15：30	講演「おはなしは心のたねまき」	野の花文庫主催 真壁 伍郎 氏
	内容 方法	石井桃子さんの「幼児のためのお話—個人的な回想にふれて」の文章を事前に配布し、石井さんのビデオを見る。読み聞かせのテクニックではなく愛情を手渡す役割。たくさん読むより、心にのこる一冊・本との出会いの大切さの講義。 (37人)	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	11月8日（土） 13：30～15：30	“絵本を見る眼を” 鍛える1 ①子どもの本のおもしろさとは？ ②絵本とは何か？ ③子どもにとって良い絵本とは？	野いちご文庫代表 元沼垂図書館長 若佐 久美子 氏
内容 方法	絵本の定義を学び、どんな絵本が出版されているか例を出していただき、その中で問題ありの絵本とは？こどもにとって良い絵本との出会いをするために、ボランティアの目を鍛えることが大切であることを学ぶ。絵本の古典の紹介 (29人)		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	11月15日（土） 13：00～15：00	“絵本を見る目”を鍛える2 ①絵本の絵を読む ②絵本のことばを楽しむ ③昔話絵本の問題	野いちご文庫代表 若佐 久美子 氏
内容 方法	絵本の絵を読む楽しさを感じ取り、昔話について資料をもとに講義。伝説と昔話の違いや、昔話の語法等、また昔話を絵本にすることの難しさを考え、良い昔話絵本・問題ありの絵本等具体的に学ぶ。 (29人)		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	11月22日（土） 13：00～16：00	“絵本を見る目”を鍛える3 ①0・1・2絵本、初めて出会う絵本（赤ちゃん絵本の間を取る持つ人の問題） ②「子どもとメディアの問題」について	野いちご文庫 若佐 久美子 氏 伊藤 美智子 氏
内容 方法	「子どもとメディア」の問題について、メディアによる子どもへの影響を考え、赤ちゃん（0・1・2歳児）のための絵本の意味について講義。また後半は、伊藤先生によるわらべうたや手遊びの実技を伝授していただき、想像力を育てることの大切さや赤ちゃん絵本の読み聞かせの導入等について。 (34人)		

成果

- ・ 幼児期における絵本とのかかわり、子どもにとって良い絵本とはなど、基礎的なことをじっくりと講義いただき、子ども達への接し方、愛情の手渡しなど、感動したとの意見が多く寄せられた。
- ・ 今まで読み聞かせの実技にとらわれていた人も、良い絵本との出会いがどんなに大切かを確信された方が多く、佐渡のボランティアの方々の意識と使命が明確になった。
- ・ この講座を契機にさらに絵本について学びたいとの意欲がでてきた。

課題

- ・ 連続参加ではなく、講座内容ごとに参加可能な運営ができるとよい。
- ・ 講座対象をボランティアリーダーとせず、多くの参加を募り、活動を地域に広げていくことが望ましい。

問合せ先 佐渡市立中央図書館（担当：渡辺 日出子） TEL：0259-63-2800 FAX：0259-63-2552